



児童生徒主体の学び

「個別最適な学び」の観点から

研究成果報告書
P10、P11

学習の進め方を自ら調整する力と、主体的に学習に取り組む態度を育成する

教師の視点

「個に応じた指導」

【指導の個別化】

- ・支援の必要な児童生徒に重点的な指導を行う。
- ・児童生徒一人一人の特性や学習進度、学習到達度に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行う。

学習者の視点

「個別最適な学び」

【学習の個性化】

- ・児童生徒一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供する。

学習者の視点で「個に応じた指導」の充実を図る



一人一人が自分の状況に応じて課題解決に取り組むことができる

① 学習環境の整備

教材研究

授業前の見取り

児童生徒の学び姿を想定



学びに関する選択肢

- 学習教材
- 解決方法
- 表現方法
- 道 具
- 学習形態
- 学びのペース など

次の学び

自己選択
自己決定

② 見取りと フィードバック



支援

価値づけ

③ 学習過程を 自覚



視点の工夫

立ち止まって考える場

自らの学習を調整しながら
粘り強く取り組む

課題解決

自分に合った
学習の進め方

1

学びに関する選択肢を示し、一人一人が自分の状況に応じて課題解決に取り組むことができる学習環境を整える

児童生徒が自己調整しながら学習を進めていけるように、学習に関して、児童生徒に委ねる部分を設け、自分たちで課題を決める、課題解決に向けて見通しを立て、どの方法を用いて解決していくか、どのようなペースで学んでいくか決めるなど、**自己選択・自己決定のある学習**にすることが必要です。

2

児童生徒の学びを見取り、見取ったことをフィードバックする

自己選択・自己決定のある学習にすることで生まれる複線化した学びの中で、**児童生徒の学びを見取り**、理解の状況に応じて**支援したり**、取組を**価値付けたり**することが、自らの学習を調整しながら粘り強く取り組むことを支えます。

3

児童生徒が学習の過程を自覚し、次の学びにつなぐことができるようにする

児童生徒が自律的に学習を進める力を身に付けるためには、**学習の過程を自覚**できるように、**意味のある振り返り**にすることが大切です。振り返りの**視点を工夫**するだけでなく、学習過程で**立ち止まって考える場**を設けます。